

第10回きょうゆうサロン 参加者アンケート結果

全学教育センター

I. 回答者の属性

回答者は、参加者 21 名のうち、16 名であった。

回答者の属性は、

職種：専任教員 9 名，職員 7 名

性別：男性 14 名，女性 2 名

所属学部等：社会福祉学部 2 名，経済学部 2 名，健康科学部 0 名

子ども発達学部 2 名，国際福祉開発学部 2 名，福祉経営学部 1 名

学生支援部 1 名，全学教育センター1 名，IR 推進室 1，無回答 4 名

II. 参加への経緯

本会の開催についてどのように知ったかについては、

ポスター1 名，チラシ 2 名，教授会資料 6 名，知人 0 名，web1 名，

メール（ML 含む）3 名，その他 3 名，無回答 0 名（複数回答あり）であった。

III. 今回のサロンに参加を決めた理由については、

外部講師の方の取り組み内容に興味があったから 1 件

関心のあるテーマだったから 1 件

先進的な FD の実際に関心があったから 1 件

最近試みている教育方法について、最初の FD の方法と重ね合わせて考えてみたいから 1 件

知る機会があったから 1 件

本学の FD の方向性を考える良いきっかけになればと思って 1 件

自身の報告に役立てたいと思って 1 件

知り合いの方が講師だったから 1 件

誘われたから 1 名

大学教育の崩壊あるいは変化にどのように対応しようかという関心があったから 1 名

教学としての立場上、考える必要があったから 1 名

無回答 5 件であった。

IV. きょうゆうサロンのプログラムについて

本会全体の評価を 12 項目でたずねた。その結果を以下に示す。

1. 今回のきょうゆうサロンは、全体的に満足いくものだった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	10	62.5%
3.	どちらかというと思う	6	37.5%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		16	

2. 事前に、このきょうゆうサロンの目的を理解していた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	6	37.5%
3.	どちらかというと思う	7	43.8%
2.	どちらかというと思わない	2	12.5%
1.	そう思わない	1	6.3%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
		16	

3. 今回のきょうゆうサロンの目的は分かりやすく説明されていた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	7	43.8%
3.	どちらかというと思う	6	37.5%
2.	どちらかというと思わない	2	12.5%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
		16	

4. 開催の日時、時間帯は適切であった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	2	12.5%
3.	どちらかというと思う	8	50.0%
2.	どちらかというと思わない	4	25.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	1	6.3%
	無回答	1	6.3%
		16	

5. 事務局は手際よく運営していた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	9	56.3%
3.	どちらかというと思う	6	37.5%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
		16	

6. 内容は、ちょうどよいレベルに設定されていた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	6	37.5%
3.	どちらかというと思う	7	43.8%
2.	どちらかというと思わない	2	12.5%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
		16	

7. 内容は、わかりやすい順序で進められた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	9	56.3%
3.	どちらかというと思う	5	31.3%
2.	どちらかというと思わない	1	6.3%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
		16	

8. 配布資料・提示資料はわかりやすいものだった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	9	56.3%
3.	どちらかというと思う	5	31.3%
2.	どちらかというと思わない	1	6.3%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
		16	

9. 話題提供者の説明はわかりやすいものだった

		人数	割合(%)
4.	そう思う	9	56.3%
3.	どちらかというと思う	6	37.5%
2.	どちらかというと思わない	0	0.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
		16	

10. このサロンを通して、人的なつながりを作ることができた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	1	6.3%
3.	どちらかというと思う	5	31.3%
2.	どちらかというと思わない	8	50.0%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	1	6.3%
	無回答	1	6.3%
		16	

11. このサロンを通して、自分に有益な情報を得ることができた

		人数	割合(%)
4.	そう思う	6	37.5%
3.	どちらかというと思う	8	50.0%
2.	どちらかというと思わない	1	6.3%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	0	0.0%
	無回答	1	6.3%
		16	

12. 今回の内容は、今後の自身の取り組み（指導・支援など）をするうえで役に立ちそうだと

		人数	割合(%)
4.	そう思う	6	37.5%
3.	どちらかというと思う	6	37.5%
2.	どちらかというと思わない	2	12.5%
1.	そう思わない	0	0.0%
0.	分からない(該当外)	1	6.3%
	無回答	1	6.3%
		16	

12. でお答えの内容について、具体的にはどのような点が役に立ちそうですか。

多人数授業の工夫について	1
体系的に説明されていたので、自身でFDを検討する際のガイド、リファレンスとして利用できそう。	1
学生に適切に自分の考えを伝えられるか	1
以前から考えていたところが正しいと確信できた。ようやく世間が追いついてきたと考えられた。	1
自分自身の教育方法の試みについて、一般的な知見と比較することができた。さらに具体的に活用するためには、教学内容に合った、より具体的な教材を利用するFDが求められるであろう。	1
講義について今後講義について生かしていきたい	1
他大学教員とFDの勉強会を不定期にもっているが、参加範囲を広げたり、単発授業を公開で開くなどの試みをやってみたいと考え始めた。多様なFDの展開に関心をもった。	1
「初任者研修のしくみ」「教員の自主研修を支えるしくみ」の視点	1
無回答	8

V. 今後、FDで扱ってほしいテーマがあれば、ご提案ください。

福祉現場の研修と教育現場の教育とをリンクした方法の開発への取り組み。(福祉教育の場合)	1
今後の教育支援について	1
大学のあり方を考える営みに関与しようとするモチベーションを高めるFD	1
”私のFD””私の捉える困難と模索”	1
無回答	12

VI. その他、ご要望・ご感想などをご自由にお書きください。

今回の多くの先生方に聞いていただきたかったなあと思います。	1
工場の研修事業と異なる部分と重なる部分がFDにはある。共通の部分は互いに創って行くもの。管理・指導型のFDからは画一化・標準化が生まれやすい。しかし、多様な授業がありながら学部や大学としてのcolourを育てていくFDというものが望まれる。多声性を嫌う文化の中では無理かもしれない。	1
無回答	13